

市立小・中学校全校でコミュニティ・スクールの導入が完了

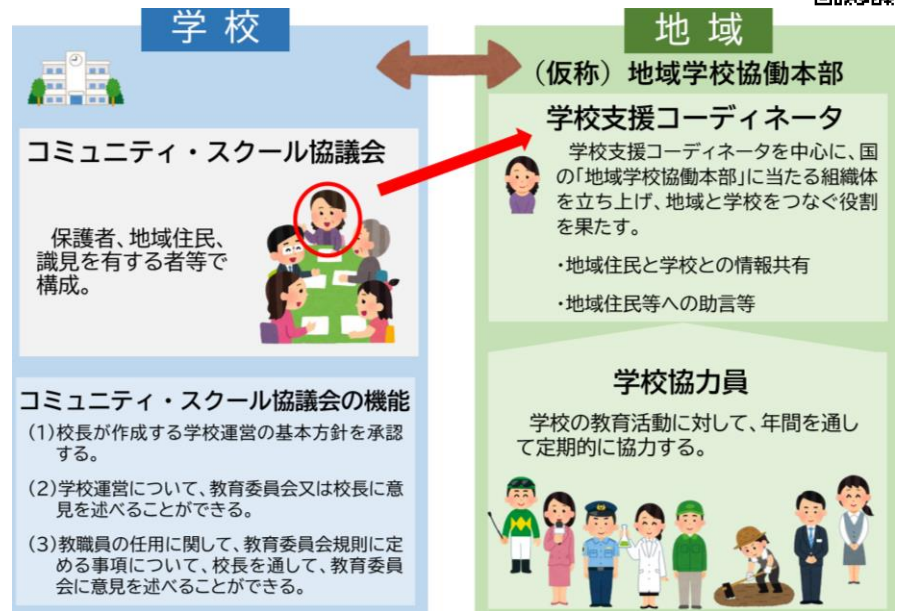
問合せ 学校指導課 ☎ (042) 312-8657

平成25年4月から段階的に導入してきたコミュニティ・スクールについて、令和7年4月から新たに第二小学校、第三小学校、第六小学校、第一中学校、第二中学校、第三中学校、第五中学校の7校で導入し、市立小・中学校全校での導入が完了しました。

コミュニティ・スクールとは、保護者や地域の皆さんが一定の権限と責任をもって学校運営に参画し、「地域とともにある学校づくり」を推進していく仕組みです。

本市では、これまで培ってきた小・中連携教育の関わりが深い5つの中学校区を基本とし、全15校の市立小・中学校において、合同もしくは単体でコミュニティ・スクール協議会を立ち上げ、教育環境の充実にご協力いただける地域人材を共有し、各地区の学校教育の充実を図る「国分寺型コミュニティ・スクール」を目指します。

このことで、地域の力をいかし、地域とともに子どもを育ていく、本市ならではの、持続可能かつ小・中連携教育を基盤として義務教育9年間のつながりを大切にしたい教育環境の整備を図っていきます。学校と地域との協働が広がることで、児童・生徒の学習や体験活動の充実、登下校や災害時の一層の安全体制の構築などが期待できます。今後各学校において、中学校区ごとの特色が反映された学校運営や教育活動を推進していきますので、ご理解とご協力をお願いします。



史跡武蔵国分寺跡(僧寺地区)の南門地区参道範囲が完成しました

問合せ ふるさと文化財課 ☎ (042) 300-0073

ふるさと文化財課は、貴重な歴史遺産として国の史跡に指定されている武蔵国分寺跡を保存し、歴史を学び、誰もが憩える場として後世に伝えるための公園づくりを行っています。

令和6年度は、令和6年9月から令和7年3月にかけて、南門地区の顔となるエントランス部分から参道に至る約4,500㎡の整備を行いました。

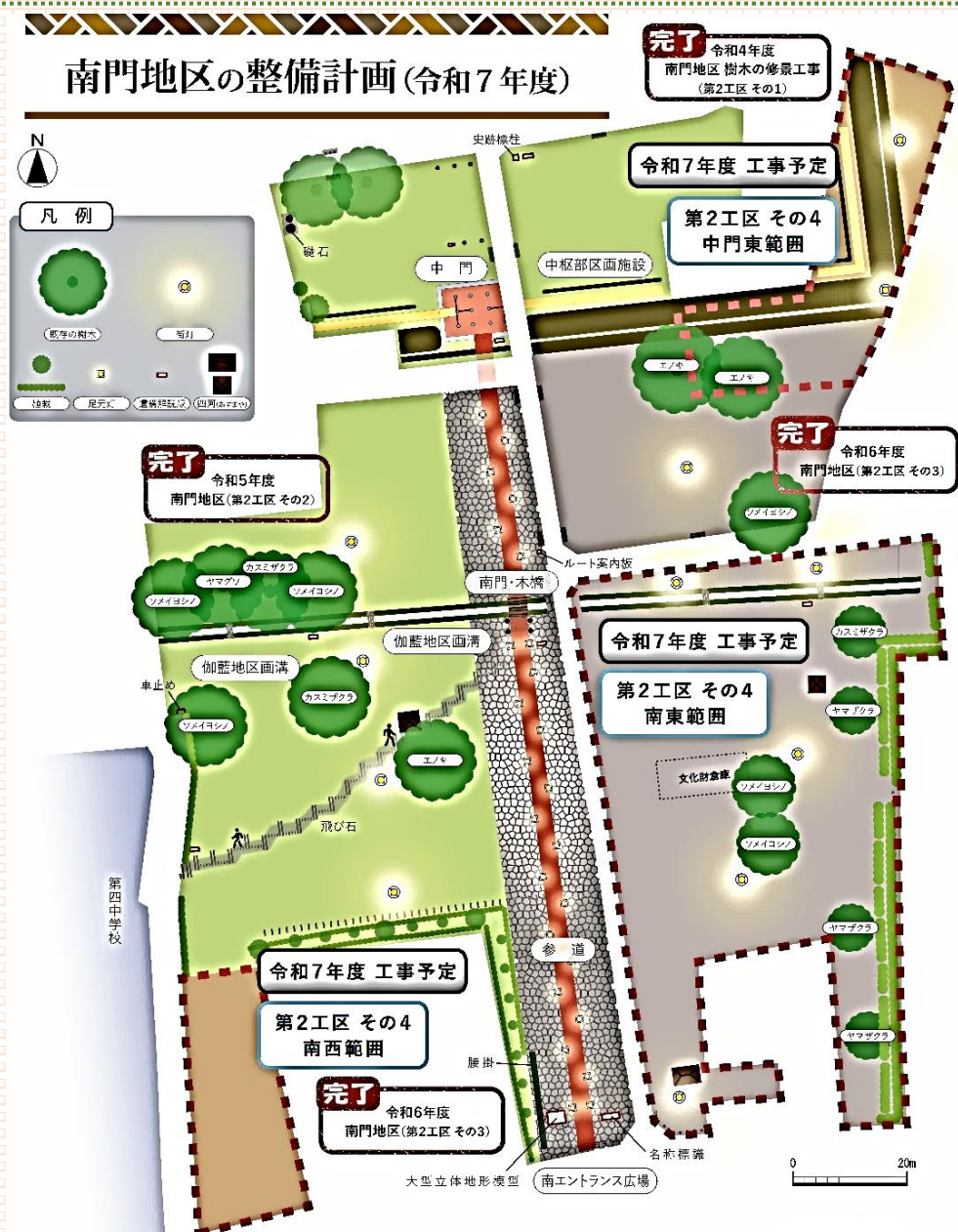
令和7年度は、伽藍地区画溝の延伸工事や外灯の増設、遺構解説板や屋根付きの休憩スペースである四阿(あずまや)の設置を行います。令和8年3月には南門地区の整備が完了する予定ですので、楽しみにお待ちください。



エントランス部分の右手に史跡の名称標識、左手に立体地形模型を配置。奈良・平安時代、武蔵国分寺の参拝に使用された参道部分は赤く舗装し、両脇を薄朱色の砂利敷きにして際立たせています。



武蔵国分寺がどのような地形に作られていたかを、見て、触って、楽しめる立体地形模型です。解説パネルには、武蔵国分寺周辺の文化財や関連施設を紹介しています。



地域交流事業「まちなかの環」 みんなで作った にじいろまつり

問合せ 公民館課(並木) ☎ (042) 321-9971

並木公民館で毎年行っている地域交流事業「まちなかの環」は、地域の子どもと大人をつなぐ場づくりを目指す事業です。

令和6年度は、「みんなでつくろうミニまつり」と題して、小学生9人が、公民館の利用者、地域団体や公民館で活動する保育グループの方々などの協力のもと、まつりの準備をしました。アイデアを出し合いながら、出し物の決定、太鼓と盆踊りの練習、お店の準備などを楽しく進め、まつりの名称は「にじいろまつり」と決めました。

当日は、参加者の家族や友人、保育グループの子どもや家族など、幅広い世代の方々に参加し、最後は練習した太鼓に合わせて、全員で輪になり、盆踊りで盛り上がりました。お互いを知らなかった大人と子どもが、名前を呼び合ったり、一緒に作業をしたり、記念撮影をしたりと、新たなつながりが生まれました。

今後も並木公民館では、地域のつながりを大切にし、大人も子どもも楽しめる講座を企画していきます。

